学校番号	315

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	ライフスポーツ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・各種運動の合理的な実践を通して、スポーツに対する「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を身につけよう。
・「する、みる、支える、知る」などの運動やスポーツとの多様な関わり方を実践し、「豊かなスポーツライフ」につながる態度を養い、将来の生活に生かせるようにしよう。
・積極的に体を動かし、他の生徒とのかかわりを学び、リーダーの資質を育てよう。

2　学習の到達目標

必修の体育授業で実施している種目を、より発展的な内容で学ぶ一方、生涯スポーツの観点から、練習方法や新たなルール等を考えさせたり、各自がこれまでに経験したことのある運動をまたは未経験の運動を、他の生徒に紹介させたりすることなどを通して、将来にわたり、スポーツをより楽しく行えるよう工夫する態度を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせる。	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期 ・ 2学期 ・ 3学期	体つくり運動・球技・水泳・	オリエンテーション 【授業内容計画】 練習計画を立てる 試合やゲームの提案 チーム分けの工夫 【集団を動かす】 説明する力をつける 協力を呼びかける力をつける 特別ルールなど考え、誰もが取り組めるルール作り 【運動実践】 体力養成ゲーム 昔遊び 水泳 バドミントン バスケットボール サッカー キックベース ソフトボール その他球技	a: 運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 b: 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。生涯にわたって各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c: 各種目の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止めること、他者の技能を讃えようとすること、マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとすることなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。	振り返りシート	振り返りシート	観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度